

ヤッ芳



《発行・編集》

No.151

医療法人社団 和楽仁 芳珠記念病院

ほうじゅ連携室

石川県能美市緑が丘 11-71

☎ (0761)51-5551 (代)



ほうじゅ

検索

第23回

10/24

ほうじゅみらい創造研修会 を開催しました

陽だまり棟講堂において、「みらいへGO2～地域包括ケアシステムの未来を考える～」をテーマに「ほうじゅみらい創造研修会」を開催しました。23回目の今回は、役職者約100名が参加し、国の大きな流れから来春に控える診療報酬、介護報酬の同時改定まで、幅広い兆しを共有した後、ほうじゅグループの「現状の姿」や次年度以降に取り組む事業のアイデアなどについてグループワークを行いました。職種の持つ専門性で異なる意見も見られ、新たな気づきや視点を共有する貴重な機会となりました。



9つに別れてグループワーク



国の動向から報酬改定まで「兆し」を共有



総立ちで盛り上がる医師のグループ



未来に向けたアイデアを発表

“暮らしやすさを日本一、実感できるまち”を目指して

能美市みんなでひらく「地域共生社会」の扉

「地域共生社会」と背景にある問題

「地域共生社会」は、“高齢者・障害者・子どもなど全ての人々が、一人ひとりの暮らしと生きがいを、ともに創り、高め合う社会”と定義されています。従来の制度や分野の「縦割り」や「支え手・受け手」の関係を超えて、『我が事』で参画する人々や社会資源が『丸ごと』つながり、「暮らし、生きがい、地域をともに創る」という考えです。

背景には、財政や人口問題といった社会情勢、社会構造の変化に起因する様々な問題と共存を図り、地域社会を維持していこうという思いがあります。

能美市の人口の現状と将来予測

能美市の人口は、微増傾向にあり、全国平均と比べ高齢化率は低く、年少人口割合は高くなっています。しかし、「能美市の人口の長期見通し」の通り、2020年以降、人口は減少に転じ、2035年の高齢者数は2010年比で約35%増加、従属人口1人を1.4人の生産年齢人口で支える社会になります(※)。この数字からも将来を見据えた「地域づくり」が、私たちにとって重要であることがわかります。

※「従属人口」は14歳以下、65歳以上の「支えられる世代」
「生産年齢人口」は15歳～64歳の「支える世代」のこと

高齢化率、年少人口割合の比較

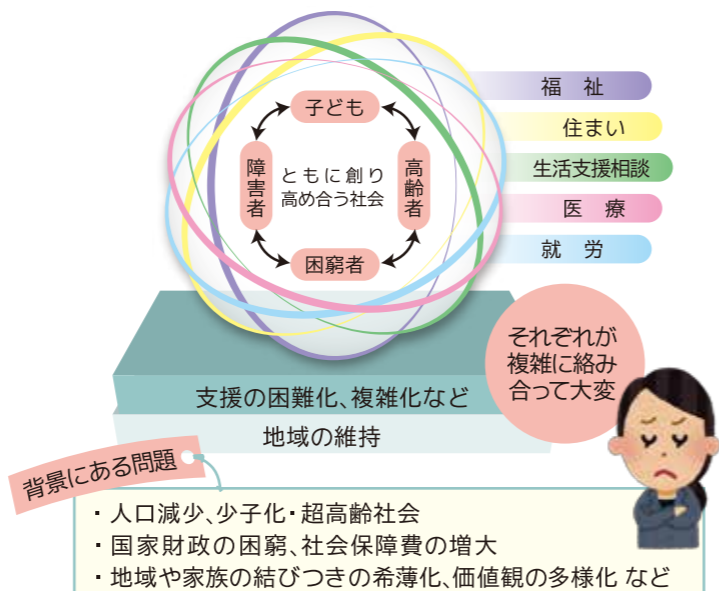
(2010年)	全国	石川県	能美市
高齢化率	23.0	23.7	20.8
年少人口割合	13.1	13.6	16.6

引用：国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口

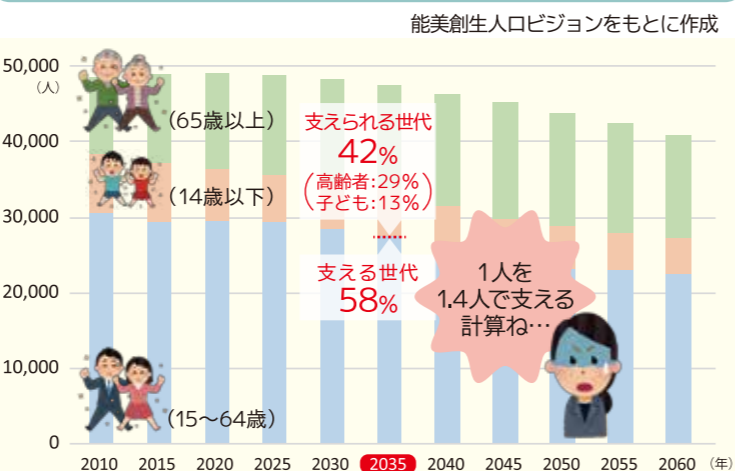
地域力はあるけど...



地域共生社会の概念図



能美市の人口の長期見通し



我が事・丸ごとの地域づくり推進事業の概念図



ほうじゅグループが「我が事・丸ごと」で取り組む「共生型福祉事業」

ほうじゅグループは、芳珠記念病院を中核とした予防・医療・介護・福祉の複合事業体として、これまで「我が事・丸ごと」で様々な事業を行ってきました。そしてこの度、国の方向性、能美市の未来を鑑みて、グループの社会福祉法人である陽翠水が、能美市と共に「共生型福祉事業」に取り組むことになりました。

現在、旧辰口健康福祉センター跡地に、来春の完成を目指し、「子ども・障害者・高齢者が共に生きる」をコンセプトにした共生型福祉施設「ジーヒルズ」を建設しており、既存の「訪問介護ビジットケアひすい」「能美市辰口高齢者支援センター」に加え6つの新規事業などを計画中です。能美市で初となる「共生型福祉事業」の一大拠点が誕生します。

地域共生社会を象徴する“希望の丘”として期待

住み慣れた能美市ですと暮らし続けたい、生活の中で他者に貢献したり、自分らしく生きていたい、ということは、多くの市民の願いです。人口減少・高齢化が進む時代に「ここで、最後まで、自分らしく生きる」ことを実現するため、市では、「我が事・丸ごとの地域づくり推進事業」を平成29年度から取り組んでいます。「地域で支える医療」や「本人中心・世帯丸ごとのケア」などを実現するべく、医療・介護・保健・福祉分野が役割を分担しながら、制度や機関の枠を超えて、地域共生社会を作っていく必要があります。「ジーヒルズ」は、能美市内初の共生型福祉施設として、来春開設予定と聞いております。ほうじゅグループが先陣をきって取り組んでいただいたことに感謝するとともに、地域共生社会の象徴としての“希望の丘”となることをご期待申し上げます。

能美市 井出 敏朗市長



“暮らしやすさを日本一、実感できるまち”実現の一助に

34年前、辰口の地に芳珠記念病院を開業し、地域づくりのために何ができるか、我が事と考え、実践し、地域とともに歩んでまいりました。22年前には、社会福祉法人陽翠水を中心に高齢者を対象とした介護福祉事業に着手しました。そしてこの度、“子ども・障害者・高齢者が共に生きる”をコンセプトにした共生型福祉事業に取り組むことになりました。少子化・超高齢社会を迎え、福祉分野も大きな転換期を迎えています。年齢や障がいの有無にかかわらず、身近な地域で誰もが受けられる福祉サービス「我が事・丸ごとの地域づくり」を実現し、コミュニティ活動の拠点を提供することが、私たちに求められる役割のひとつだと考えています。能美市が掲げる“暮らしやすさを日本一、実感できるまち”を実現するために微力ながら貢献したいと思っております。

ほうじゅ ほうじゅグループ代表 仲井 培雄



事業の詳細などは能美市のホームページで確認できます。





9/9

RUN 伴 2017 in 石川



認知症の方とそのご家族を支え、地域をつなぐタスキルー「RUN 伴」が開催されました。当院から28名が参加、約10kmを14名でつなぎました。



9/27

能美市消防救急合同症例検討会



能美市消防本部と合同で救急搬送の症例検討会を開催。約50名が参加し意見交換を行いました。お互いに連携を深め、地域の救急医療の質向上に取り組んでいきます。



10/9

緑が丘防災避難訓練



能美市緑が丘町会の防災避難訓練に参加しました。有事の際の避難経路や連携を確認した他、当院にけが人が搬送された想定でトリアージ訓練も実施しました。



10/11

認知症講話「みんなの認知症予防」



クアハウス九谷と協働で認知症予防啓発イベントを開催。当院から介護療養病棟に勤務する職員5名も講師で参加しました。平日の日中にもかかわらず約40名が参加され、認知症への関心の高さを感じました。



10/13

第41回院内研究発表会



約60名が参加し、学会などで発表した内容を中心に10演題の発表がありました。日頃、目にすることの少ない他職種の研究内容に、質問や活発な意見交換がなされました。



資格取得や受賞に関する話題

軽海副主任が「看護師特定行為研修」を修了しました



「看護師特定行為研修制度」は、医師や歯科医師の判断を待たず、手順書により、一定の診療補助(特定行為)を実施できる看護師の養成制度。看護師のキャリアアップや医師の負担軽減などが期待されています。

5階病棟看護師 軽海副主任が、約1年にわたる研修を修了しました。

ほうじゅグループ

医療法人社団 和楽仁

- 芳珠記念病院
- 居宅介護支援事業所
- ほうじゅ訪問看護・リハステーション緑が丘
- グループホーム陽らら

社会福祉法人 陽翠水

- 介護老人保健施設 陽翠の里
- 訪問介護事業所 ビジットケアひすい
- 小規模多機能型居宅介護事業所 コミニケア緑が丘
- 能美市辰口高齢者支援センター

信和商事株式会社

- 高齢者対応型賃貸住宅 コレクティブハウス緑が丘
- 福祉用具貸与事業所 ライフケア芳珠

ほうじゅグループのモットー「和楽仁」

仲よく楽しく 人と社会を健康に

芳珠記念病院の基本方針

1. 地域医療を担う病院として、当院に関わる皆様の生涯の健康を支えます。
2. 心のふれあいを大切に、安心できるパートナーシップを築きます。
3. 利用される皆様の権利を尊重し、十分な説明と同意のもとに、参画できる医療を提供します。
4. 救命救急から慢性疾患まで、最新の科学的根拠に基づく、安全で的確なチーム医療を、多職種協働で提供します。
5. 地域との交流を大切に、社会保障の向上と経済の振興に取り組みます。

編集後記

「人口減少、少子化・超高齢社会」…インパクトのある言葉ですが、私たちが生活する現代社会を表現したものです。少子化は残念ですが、元気な高齢者が増えることは喜ばしいこと。幸せな「みらい」をともに作れたら良いと思います。そのための一歩は特別なことではなく、皆さんの身近にあるちょっとした支え合いかもしれませんね。

11月に入り、肌寒い日も増えてきました。体調管理には十分お気を付けください。今年も1年、お世話になりました。ありがとうございました。